



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4559 URL <http://www.zeria.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊部 幸顕

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役広報部長 (氏名) 森山 茂

TEL 03-3661-1039

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	13,460	15.0	1,408	299.5	1,579	245.2	1,030	390.9
23年3月期第1四半期	11,700	0.8	352	105.9	457	74.6	209	18.4

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,538百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △542百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	24.91	—
23年3月期第1四半期	5.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	75,680	29,546	38.9
23年3月期	73,779	28,423	38.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 29,431百万円 23年3月期 28,321百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	9.00	—	10.00	19.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,500	6.9	1,900	3.1	1,900	2.4	1,250	5.0	30.23
通期	54,500	10.1	3,500	5.7	3,500	10.8	2,250	22.1	54.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	48,290,173 株	23年3月期	48,290,173 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	6,939,377 株	23年3月期	6,937,032 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	41,351,960 株	23年3月期1Q	41,364,346 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) その他の注記事項	9
4. 補足情報	10
(1) 販売実績	10
(2) 新薬パイプラインの状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のおわが国経済は、3月に発生いたしました東日本大震災の影響により企業の生産活動や輸出が大きな打撃を受け、また原子力発電所のトラブルに起因する懸念材料も多く、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

医療用医薬品業界におきましては、後発医薬品の使用促進などの医療費抑制策が引き続き推進されており、またOTC医薬品市場におきましても市場競争が激化するなど、ともに厳しい状況下で推移しました。

このような状況の中、引き続き主力製品の市場浸透に努めた結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は134億60百万円（前年同四半期比15.0%増）となりました。一方、利益につきましては、売上高の増加と原価率の改善等により、営業利益14億8百万円（前年同四半期比299.5%増）、経常利益15億79百万円（前年同四半期比245.2%増）、四半期純利益10億30百万円（前年同四半期比390.9%増）と大幅な増益となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の海外売上高比率は、14.8%（前年同四半期13.2%）となりました。セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」は、国内におきましては平成23年1月より長期処方が可能となったことから、大幅に売上を拡大いたしました。また海外におきましても、ティロッツ・ファーマ社（Tillott Pharma AG、以下「Tillotts社」）の自販体制の推進等による営業力強化により引き続き売上を拡大いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は79億81百万円（前年同四半期比13.8%増）となりました。

②コンシューマーヘルスケア事業

主力製品である「コンドロイチン群」は、テレビCM及びそれに連動した店頭販売促進活動等の効果もあり、引き続き売上を拡大いたしました。滋養強壮剤「ヘパリーゼ群」につきましても、昨年度から実施したテレビCMの全国展開により製品認知度が向上し、売上を大幅に拡大いたしました。また、植物性便秘薬「ウィズワン群」をはじめ、その他主力製品群も増収となっております。

以上の結果、当セグメントの売上高は54億24百万円（前年同四半期比17.0%増）となりました。

③その他

保険代理業・不動産賃貸収入等により、当事業の売上高は53百万円（前年同四半期比11.4%増）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は756億80百万円となり、前連結会計年度末対比19億1百万円の増加となりました。その内訳は流動資産が268億97百万円で、前連結会計年度末対比17億29百万円の増加、固定資産が487億82百万円で、前連結会計年度末対比1億71百万円の増加となっております。流動資産の増減の主なものは、受取手形及び売掛金の増加5億58百万円、商品及び製品等のたな卸資産の増加6億80百万円、流動資産のその他の増加3億82百万円等であります。また、固定資産の増減の主なものは、有形固定資産の増加97百万円、投資その他の資産の増加53百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は461億34百万円となり、前連結会計年度末対比7億78百万円の増加となりました。その内訳は流動負債が311億52百万円で、前連結会計年度末対比11億62百万円の増加、固定負債が149億81百万円で、前連結会計年度末対比3億83百万円の減少となっております。流動負債の増減の主なものは、支払手形及び買掛金の増加6億73百万円、賞与引当金の減少4億68百万円、流動負債のその他の増加11億49百万円であります。また、固定負債の増減の主なものは、長期借入金の減少3億76百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は295億46百万円となり、前連結会計年度末対比11億22百万円の増加となりました。これは、四半期純利益の計上10億30百万円、前期末の配当の実施4億13百万円、為替換算調整勘定の増加5億7百万円等によるものであります。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.5%上昇し、38.9%となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の連結業績はほぼ計画通りで推移しております。また、主力製品である「アサコール」、
「ヘパリーゼ群」等の伸びにより、当連結会計年度の売上高は今後とも増収基調を維持できるものと予想し
ております。しかしながら、第2四半期以降は、子会社を含めた研究開発費の増大や広告宣伝活動の積極的
展開、現在承認申請中の新薬上市に向けた営業体制の整備等により経費の増加が見込まれるため、現時点で
は平成23年5月17日に発表いたしました平成24年3月期の連結業績予想は変更しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果
会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しておりま
す。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,949,837	5,053,694
受取手形及び売掛金	12,309,222	12,867,792
商品及び製品	2,710,728	3,380,749
仕掛品	578,596	732,882
原材料及び貯蔵品	1,944,720	1,801,369
その他	2,701,636	3,084,588
貸倒引当金	△27,331	△23,702
流動資産合計	25,167,411	26,897,375
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,570,238	6,711,521
土地	11,563,927	11,567,129
その他(純額)	3,403,607	3,356,983
有形固定資産合計	21,537,772	21,635,634
無形固定資産		
のれん	12,688,869	12,772,606
その他	1,241,044	1,176,870
無形固定資産合計	13,929,914	13,949,477
投資その他の資産		
投資有価証券	8,499,480	8,660,994
その他	4,710,269	4,601,697
貸倒引当金	△65,757	△64,870
投資その他の資産合計	13,143,992	13,197,822
固定資産合計	48,611,679	48,782,934
資産合計	73,779,090	75,680,309
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,364,705	4,038,558
短期借入金	19,943,994	19,883,927
1年内償還予定の社債	1,200,000	1,200,000
未払法人税等	823,403	771,439
賞与引当金	1,078,077	609,667
返品調整引当金	137,817	133,027
売上割戻引当金	228,495	221,583
災害損失引当金	79,889	10,911
その他	3,133,534	4,283,402
流動負債合計	29,989,916	31,152,517

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	14,381,808	14,005,803
退職給付引当金	177,445	175,003
資産除去債務	71,761	71,919
その他	534,523	528,936
固定負債合計	15,365,539	14,981,663
負債合計	45,355,456	46,134,180
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	5,414,745	5,414,745
利益剰余金	25,656,976	26,273,607
自己株式	△7,303,181	△7,305,473
株主資本合計	30,361,939	30,976,277
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,037,749	△2,043,116
繰延ヘッジ損益	15,115	7,972
為替換算調整勘定	△17,836	489,895
その他の包括利益累計額合計	△2,040,471	△1,545,248
少数株主持分	102,165	115,099
純資産合計	28,423,633	29,546,128
負債純資産合計	73,779,090	75,680,309

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	11,700,828	13,460,154
売上原価	4,704,879	4,877,777
売上総利益	6,995,948	8,582,377
返品調整引当金戻入額	169,984	137,817
返品調整引当金繰入額	160,814	133,027
差引売上総利益	7,005,118	8,587,167
販売費及び一般管理費	6,652,608	7,178,733
営業利益	352,509	1,408,434
営業外収益		
受取利息	556	1,174
受取配当金	151,865	161,045
為替差益	4,030	73,523
その他	33,785	19,181
営業外収益合計	190,237	254,925
営業外費用		
支払利息	68,698	73,704
その他	16,435	9,879
営業外費用合計	85,133	83,583
経常利益	457,613	1,579,776
特別利益		
固定資産売却益	15,190	—
貸倒引当金戻入額	1,090	—
特別利益合計	16,280	—
特別損失		
固定資産除却損	982	13,315
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	63,834	—
災害による損失	—	18,297
特別損失合計	64,816	31,613
税金等調整前四半期純利益	409,076	1,548,163
法人税等	199,229	516,232
少数株主損益調整前四半期純利益	209,847	1,031,931
少数株主利益	—	1,768
四半期純利益	209,847	1,030,162

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	209,847	1,031,931
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△682,639	△5,366
繰延ヘッジ損益	△42,110	△7,143
為替換算調整勘定	△27,914	518,897
その他の包括利益合計	△752,663	506,387
四半期包括利益	△542,815	1,538,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△542,815	1,525,385
少数株主に係る四半期包括利益	—	12,933

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,015,659	4,636,873	11,652,532	48,295	11,700,828	—	11,700,828
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	24	24	75,692	75,716	△75,716	—
計	7,015,659	4,636,897	11,652,556	123,987	11,776,544	△75,716	11,700,828
セグメント利益	938,614	478,297	1,416,911	27,300	1,444,211	△1,091,702	352,509

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,091,702千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の
全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,981,541	5,424,809	13,406,351	53,803	13,460,154	—	13,460,154
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	27	27	87,245	87,272	△87,272	—
計	7,981,541	5,424,836	13,406,378	141,049	13,547,427	△87,272	13,460,154
セグメント利益	1,890,040	703,064	2,593,104	32,173	2,625,278	△1,216,843	1,408,434

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,216,843千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) その他の注記事項
(追加情報)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

4. 補足情報

(1) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	前年同四半期比 増減(△)率(%)
医療用医薬品事業	7,981,541	13.8
コンシューマーヘルスケア事業	5,424,809	17.0
報告セグメント計	13,406,351	15.1
その他	53,803	11.4
合計	13,460,154	15.0

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 金額は消費税等抜きで表示しております。

(2) 新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

1) 消化器系分野

(平成23年8月5日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
申請中	Z-338/ アコチアミド	共同開発 (アステラス製薬)	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善 作用	自社品 予定製品名 アコファイド
フェーズⅢ	Z-103/ ポラブレジンク	自社	味覚障害 プロマック効能追加	亜鉛補充	導入品
フェーズⅠ/Ⅱ	Z-208/ タミバロテン	共同開発 (テムリック)	肝細胞癌	レチノイン酸RAR α 受容体作用	導入品
フェーズⅡ	Z-206/ メサラジン	共同開発 (協和発酵キリン)	クローン病 アサコール効能追加	pH依存型放出調整剤	自社(Gr)品

2) その他の分野

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
フェーズⅢ 追加試験	Z-100	自社	子宮頸癌 アンサー効能追加	免疫調節作用	自社品
フェーズⅢ	Z-521	自社	低リン血症性くる病	リン酸補充 未承認薬開発支援対象	自社品
フェーズⅡ	Z-207	自社	アレルギー性鼻炎	粘膜組織凝固・収縮 作用 エタノール・ ステロイド配合剤	導入品

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
承認 (韓国)	Z-103/ ポラブレジンク	導出 (SK Chemicals)	胃炎・胃潰瘍 プロマック	胃粘膜保護作用	導入品
フェーズⅢ (中国)	Z-206/ メサラジン	共同開発 (Tillotts Pharma)	潰瘍性大腸炎 アサコール	pH依存型放出調整剤	自社(Gr)品
フェーズⅢ準備中 (欧州)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善 作用	自社品
フェーズⅡ終了 (北米)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善 作用	自社品
フェーズⅡ準備中 (欧州)	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK2 受容体拮抗作用	自社品

自社(Gr)品 : 自社グループオリジナル品